

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	1	Test 1. Part 1 写真描写問題	リスニング力の向上
学年	2年	担当教員	小林/阿部	2	Test 1. Part2 応答問題	リスニング力の向上
科目名	English Strategy TOEIC730突破	時間数	170単位時間	3	Test 1. Part3 会話問題	リスニング力の向上
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	Test 1. Part4 説明文問題	リスニング力の向上
使用テキスト名	TOEIC L&Rテスト 究極の模試600問+			5	Test 1. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
補助教材	TOEIC(R)L&Rテスト 英単語 ゼロからスコアが稼げるドリル			6	Test 1. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
科目概要と科目到達目標 科目到達目標: ListeninngとReadingの模試問題を集中的に学習し、トレーニングによって解法を身に付ける 9月のTOEIC公開テストで700点、11月のTOEIC公開テストで800点をを目指す				7	Test 1. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				8	Test 1. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				9	Test 1. Part7 読解問題	リーディング力の向上
				10	Test 1. Part7 読解問題	リーディング力の向上
				11	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				12	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				13	評価	まとめテスト
授業の進め方・学習方法・課題 問題集を使用した実践形式のリーディング問題に慣れることにより得点力の向上を狙う。 繰り返し音声を聞くことにより、音声を記憶する。 ミニテストによる学習進捗状況の確認。 対面授業と遠隔授業の併用実施				14	Test 2. Part 1 写真描写問題	リスニング力の向上
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②TOEIC公式テストスコア20% ③課題提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				15	Test 2. Part2 応答問題	リスニング力の向上
				16	Test 2. Part3 会話問題	リスニング力の向上
				17	Test 2. Part4 説明文問題	リスニング力の向上
				18	Test 2. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
				19	Test 2. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
				20	Test 2. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				21	Test 2. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				22	Test 2. Part7 読解問題	リーディング力の向上
				23	Test 2. Part7 読解問題	リーディング力の向上
				24	Test 3. Part 1 写真描写問題	リスニング力の向上
実務経験教員の経歴 貿易会社での翻訳業務経験7年 大手英会話教室講師経験あり				25	Test 3. Part2 応答問題	リスニング力の向上
				26	Test 3. Part3 会話問題	リスニング力の向上
				27	Test 3. Part4 説明文問題	リスニング力の向上
				28	Test 3. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
				29	Test 3. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
				30	Test 3. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				31	Test 3. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				32	Test 3. Part7 読解問題	リーディング力の向上
				33	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				34	評価	まとめテスト

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	1	Test 1. Part 1 写真描写問題	リスニング力の向上
学年	2年	担当教員	小林/阿部	2	Test 1. Part2 応答問題	リスニング力の向上
科目名	English Strategy TOEIC650突破	時間数	170単位時間	3	Test 1. Part3 会話問題	リスニング力の向上
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	Test 1. Part4 説明文問題	リスニング力の向上
使用テキスト名	TOEIC L&Rテスト 究極の模試600問+			5	Test 1. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
補助教材	TOEIC(R)L&Rテスト 英単語 ゼロからスコアが稼げるドリル			6	Test 1. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
科目概要と科目到達目標 TOEIC350点から500点の学生を対象に、650点突破を目指す。				7	Test 1. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				8	Test 1. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				9	Test 1. Part7 読解問題	リーディング力の向上
				10	Test 1. Part7 読解問題	リーディング力の向上
				11	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				12	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				13	評価	まとめテスト
授業の進め方・学習方法・課題				14	Test 2. Part 1 写真描写問題	リスニング力の向上
リスニングとリーディングを交互に取り混ぜ、単語力強化のため 毎日単語チェックを行う。 また、集中力を持続させ受験できるように授業時間に時間を意識させ 問題を解くように促す。 対面授業と遠隔授業の併用実施				15	Test 2. Part2 応答問題	リスニング力の向上
				16	Test 2. Part3 会話問題	リスニング力の向上
				17	Test 2. Part4 説明文問題	リスニング力の向上
				18	Test 2. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
				19	Test 2. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
				20	Test 2. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				21	Test 2. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
評価方法・成績評価基準				22	Test 2. Part7 読解問題	リーディング力の向上
①定期試験50% ②TOEIC公開テストスコア20% ③課題提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	Test 2. Part7 読解問題	リーディング力の向上
				24	Test 3. Part 1 写真描写問題	リスニング力の向上
				25	Test 3. Part2 応答問題	リスニング力の向上
				26	Test 3. Part3 会話問題	リスニング力の向上
				27	Test 3. Part4 説明文問題	リスニング力の向上
				28	Test 3. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
				29	Test 3. Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
				30	Test 3. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				31	Test 3. Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				32	Test 3. Part7 読解問題	リーディング力の向上
実務経験教員の経歴				33	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				34	評価	まとめテスト

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	2級の重要名詞①	10月受験対策
学 科 名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	2級の重要名詞②	10月受験対策
学 年	2年	担当教員	皆川	3	2級の重要動詞①	10月受験対策
科 目 名	English Strategy 英検2級	時間数	170単位時間	4	2級の重要動詞②	10月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	2級の重要形容詞	10月受験対策
使用テキスト名	英検2級をひとつひとつわかりやすく。			6	2級の重要副詞	10月受験対策
補助教材	英検2級過去問題集、出る順で最短合格! 英検2級単熟語EX			7	2級の重要前置詞とフレーズ①	10月受験対策
科目概要と科目到達目標				8	2級の重要前置詞とフレーズ②	10月受験対策
				9	2級の重要前置詞とフレーズ③	10月受験対策
読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し2級取得を目指す				10	注意すべき時制	10月受験対策
				11	注意すべき助動詞	10月受験対策
				12	不定詞	10月受験対策
				13	動名詞	10月受験対策
				14	まとめテスト	評価
授業の進め方・学習方法・課題				15	関係詞	10月受験対策
レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる リスニング対策 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	注意すべき完了形・受動態	10月受験対策
				17	分詞の基本	10月受験対策
				18	仮定法	10月受験対策
				19	比較	10月受験対策
				20	2級で覚えておくべきその他のルール	10月受験対策
評価方法・成績評価基準				21	長文得点アップのポイント①	10月受験対策
①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない 対面授業と遠隔授業の併用実施				22	長文得点アップのポイント②	1月受験対策
				23	英作文①	1月受験対策
				24	英作文②	1月受験対策
				25	英作文③	1月受験対策
				26	英作文④	1月受験対策
				27	リスニング 会話表現①	1月受験対策
				28	リスニング 会話表現②	1月受験対策
				29	リスニング アナウンス表現	1月受験対策
				30	リスニング第一部の攻略法	1月受験対策
				31	リスニング第二部の攻略法	1月受験対策
実務経験教員の経歴				32	模擬テスト	1月受験対策
				33	模擬テスト	1月受験対策
				34	評価テスト	評価

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	1	準2級の重要名詞①	10月受験対策
学年	2年	担当教員	高橋	2	準2級の重要名詞②	10月受験対策
科目名	English Strategy 英検準2級	時間数	170単位時間	3	準2級の重要動詞①	10月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	準2級の重要動詞②	10月受験対策
使用テキスト名	英検2級をひとつひとつわかりやすく。			5	準2級の重要形容詞・副詞	10月受験対策
補助教材	英検準2級過去問題集、英検準2級 文で覚える単熟語			6	準2級の重要前置詞・接続詞	10月受験対策
科目概要と科目到達目標 読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し準2級取得を目指す				7	準2級の重要熟語	10月受験対策
				8	準2級の重要会話表現	10月受験対策
授業の進め方・学習方法・課題 レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる リスニング対策を定期的に行う 対面授業と遠隔授業の併用実施				9	自動詞と他動詞	10月受験対策
				10	注意すべき時制	10月受験対策
				11	注意すべき受け身	10月受験対策
				12	助動詞①	10月受験対策
				13	助動詞②	10月受験対策
				14	評価テスト	評価
評価方法・成績評価基準 ①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				15	仮定法	10月受験対策
				16	動名詞	10月受験対策
				17	分詞構文	10月受験対策
				18	関係詞	10月受験対策
				19	比較	10月受験対策
				20	長文読解	10月受験対策
実務経験教員の経歴				21	英作文問題①	10月受験対策
				22	英作文問題②	1月受験対策
				23	英作文問題③	1月受験対策
				24	リスニング 会話表現①	1月受験対策
				25	リスニング 会話表現②	1月受験対策
				26	リスニング 説明文	1月受験対策
				27	リスニング問題のテクニック①	1月受験対策
				28	リスニング問題のテクニック②	1月受験対策
				29	総合テスト①	1月受験対策
				30	総合テスト②	1月受験対策
				31	総合テスト③	1月受験対策
				32	2次面接対策①	1月受験対策
				33	2次面接対策②	1月受験対策
				34	評価テスト	評価

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	ITパスポート試験の概要	ITパスポート試験対策
学 科 名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	企業活動①	ITパスポート試験対策
学 年	2年	担当教員	阿部	3	企業活動②	ITパスポート試験対策
科 目 名	ITパスポート	時間数	34単位時間	4	法務①	ITパスポート試験対策
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	法務②	ITパスポート試験対策
使用テキスト名	いちばんやさしい ITパスポート			6	経営戦略マネジメント①	ITパスポート試験対策
補助教材				7	経営戦略マネジメント②	ITパスポート試験対策
				8	技術戦略マネジメント①	ITパスポート試験対策
科目概要と科目到達目標				9	技術戦略マネジメント②	ITパスポート試験対策
科目概要:ITパスポート試験対策 テキストに沿って出題範囲のIT知識を学び、年度内の合格を目指す				10	システム戦略	ITパスポート試験対策
				11	開発技術①	ITパスポート試験対策
				12	開発技術②	ITパスポート試験対策
				13	プロジェクトマネジメント	ITパスポート試験対策
				14	評価テスト	評価
授業の進め方・学習方法・課題				15	サービスマネジメントとシステム監査①	ITパスポート試験対策
ITの概要を学習後、クイズやミニテストを実施し理解度を確認。				16	サービスマネジメントとシステム監査②	ITパスポート試験対策
				17	基礎理論とアルゴリズム①	ITパスポート試験対策
				18	基礎理論とアルゴリズム②	ITパスポート試験対策
対面授業と遠隔授業の併用実施				19	コンピュータシステム①	ITパスポート試験対策
評価方法・成績評価基準				20	コンピュータシステム②	ITパスポート試験対策
出席30%、テスト30%、課題40%				21	ハードウェア①	ITパスポート試験対策
【成績評価基準】				22	ハードウェア②	ITパスポート試験対策
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				23	ソフトウェア①	ITパスポート試験対策
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				24	ソフトウェア②	ITパスポート試験対策
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				25	データベース①	ITパスポート試験対策
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				26	データベース②	ITパスポート試験対策
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				27	ネットワーク①	ITパスポート試験対策
				28	ネットワーク②	ITパスポート試験対策
				29	情報セキュリティ①	ITパスポート試験対策
				30	情報セキュリティ②	ITパスポート試験対策
				31	ITパスポート試験対策テスト①	ITパスポート試験対策
実務経験教員の経歴				32	ITパスポート試験対策テスト②	ITパスポート試験対策
				33	ITパスポート試験対策テスト③	ITパスポート試験対策
				34	評価テスト	評価テスト

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	1	Unit 1. Food for Life	Contrast General and Current Actions Give Details to Support Your Ideas
学年	2年	担当教員	Mara Skeele / 今井 Charlie	2	Unit 1. Food for Life	
科目名	Speaking II	時間数	68単位時間	3	Unit 1. Food for Life	
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	Unit 2. Express Yourself	Talk about Yourself Start a Conversation Give examples
使用テキスト名	WORLD ENGLISH 2			5	Unit 2. Express Yourself	
補助教材				6	Unit 2. Express Yourself	Make Predictions about Your City or Town Evaluate Solutions to a Problem
科目概要と科目到達目標 英語で基本的なコミュニケーションが図れる能力を身につける。 自己紹介から始まり最終的には自分の意見を伝えることを到達目標とする。				7	Unit 3. Cities	
				8	Unit 3. Cities	
				9	Unit 3. Cities	
授業の進め方・学習方法・課題 さまざまなTOPICから自分の意見を考えたうえでグループで、発表しながら基本的な形式をマスターする 対面授業と遠隔授業の併用実施				10	Unit 4. The Body	Discuss Ways to Stay Healthy Talk about Healthy Lifestyles Explain an Idea Using Details
				11	Unit 4. The Body	
				12	Unit 4. The Body	
				13	Unit 5. Challenges	Talk about Facing Challenges Discuss Steps Toward a Goal Describe a Personal Challenge
14	Unit 5. Challenges					
評価方法・成績評価基準 ①口頭試験50% ②授業への積極的参加20% ③課題提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				15	Unit 5. Challenges	Talk about Different Stages in Your Life Ask Questions to Get More Information
				16	Unit 6. Transitions	
				17	Unit 6. Transitions	
実務経験教員の経歴				18	Unit 6. Transitions	Discuss Spending Habits Talk about Different Lifestyles Set Priorities
				19	Unit 7. Thing that Matter	
				20	Unit 7. Thing that Matter	
				21	Unit 7. Thing that Matter	Talk about Consequences Describe a Situation Explain a Conservation Issue
				22	Unit 8. Conservation	
				23	Unit 8. Conservation	
				24	Unit 8. Conservation	Discuss Life in the Past Talk about How Things Were Done in the Past Describe a Historical Wonder
				25	Unit 9. Life Now and in the Past	
				26	Unit 9. Life Now and in the Past	
				27	Unit 9. Life Now and in the Past	Talk about Organizing a Trip Use English at the Airport Discuss Travel
				28	Unit 10. Travel	
				29	Unit 10. Travel	
				30	Unit 10. Travel	Discuss Career Choices Talk about Career Planning Create a Personal Profile
				31	Unit 11. Careers	
				32	Unit 11. Careers	
				33	Unit 11. Careers	
				34	Assessment	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	1	Unit 1 就職活動	Introduction
学年	2年	担当教員	今井 チャーリー / 真島明子	2	Unit 1. Telephone Communication	取り次いでもらう・取り次ぐ
科目名	Business Communication	時間数	34単位時間	3	Unit 1. Business Topics	高まるビジネス英語の必要性
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	Unit 2. 面接	Introduction
使用テキスト名	実践ビジネス英語			5	Unit 2. Telephone Communication	間違い電話
補助教材				6	Unit 2. Business Topics	就職面接のポイント
科目概要と科目到達目標				7	Unit 3. 会社プロフィール	Introduction
				8	Unit 3. Telephone Communication	不在の時の対応
科目概要: オフィスでの使用を想定される英単語・表現を学習し、リスニング能力を身に付け、英検やTOEIC等の検定対策はもちろんのこと、実際の会話の場面においても聞き返すことなく理解できることを目指す。また自身の発音の改善にもつながるよう努力する。				9	Unit 3. Business Topics?	日本企業の特徴
				10	Unit 4. 仕事の内容	Introduction
				11	Unit 4. Telephone Communication	取次ぎを断る
				12	Unit 4. Business Topics	会社の組織
				13	Unit 5. 会議開催の通知	Introduction
授業の進め方・学習方法・課題				14	Unit 5. Telephone Communication	メッセージを残す・預かる
				15	Unit 5. Business Topics	グローバル企業でのコミュニケーション
オフィスでの使用を想定される英単語・表現を学習し、仕事での使用を想定した実践的な英語スキルを身に付ける。また、TOEICのスコアアップを目指す。				16	Unit 6 ビジネスパートナーを空港で出迎える	Introduction
				17	Unit 6. Telephone Communication	本人による電話対応
				18	Unit 6. Business Topics	出入国手続き
				19	Unit 7 受付での対応	Introduction
対面授業と遠隔授業の併用実施				20	Unit 7. Telephone Communication	ボイスメール
				21	Unit 7. Business Topics	国際ビジネスで大切なホスピタリティの精神
評価方法・成績評価基準 出席30%、テスト30%、課題40% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	Unit 8 紹介と名刺交換	Introduction
				23	Unit 8. Telephone Communication	アポイントメントをとりつける
				24	Unit 8. Business Topics	異文化コミュニケーション
				25	Unit 9 会議冒頭のあいさつ	Introduction
				26	Unit 9. Telephone Communication	会議に遅れることを伝える
				27	Unit 9. Business Topics	訪日外国人を増やすための政府の取り組み
				28	Unit 10 プレゼンテーション	Introduction
				29	Unit 10. Telephone Communication	打ち合わせの申し入れ
				30	Unit 10. Business Topics	プレゼンテーションのスキル
				31	Unit 11 交渉	Introduction
実務経験教員の経歴				32	Unit 11. Telephone Communication	ねざらいと別れのあいさつ
				33	Unit 11. Business Topics	望ましいネゴシエーションとは
				34	Assessment	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	1	Introduction to Anthoropology 1	イントロダクション
学 年	2年	担当教員	Maya Skeele / 真島明子	2	Introduction to Anthoropology 2	イントロダクション
科 目 名	Cultural Studies II	時間数	34単位時間	3	The Culture Concept 1	概念
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	The Culture Concept 2	概念
使用テキスト名	Perspectives: An Open Invitation to Cultural Anthoropology			5	Method in Cultural Anthoropology 1	方法論
補助教材				6	Method in Cultural Anthoropology 2	方法論
科目概要と科目到達目標				7	Language 1	言語
				8	Language 2	言語
科目概要: 「文化人類学とは何か」から始まり、概要とフィールドワークを含めた方法論を学んだ上で、 家族や結婚、人種、ジェンダー、宗教、グローバリゼーション等のテーマの諸側面を考える				9	Subsistence 1	生計
				10	Subsistence 2	生計
				11	Economics 1	経済
				12	Economics 2	経済
				13	Political Anthoropology 1	政治人類学
				14	Political Anthoropology 2	政治人類学
授業の進め方・学習方法・課題				15	Assessment	評価
準備されたテキストに沿って各テーマを取り扱い、個々の考えをクラス内で共有する。				16	Family and Marriage 1	家族と結婚
				17	Family and Marriage 2	家族と結婚
				18	Race and Ethnicity 1	人種と民族性
				19	Race and Ethnicity 2	人種と民族性
対面授業と遠隔授業の併用実施				20	Gender and Sexuality 1	性
評価方法・成績評価基準				21	Gender and Sexuality 2	性
出席30%、テスト30%、課題40% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	Religion 1	宗教
				23	Religion 2	宗教
				24	Globalization 1	グローバリゼーション
				25	Globalization 2	グローバリゼーション
				26	The History Anthoropological Ideas 1	人類学的思考の歴史
				27	The History Anthoropological Ideas 2	人類学的思考の歴史
				28	Culture and Sustainability 1	文化と持続性
				29	Culture and Sustainability 2	文化と持続性
				30	Media Anthorology 1	メディア人類学
				31	Media Anthorology 2	メディア人類学
実務経験教員の経歴				32	Health and Medicine 1	健康と医療
				33	Health and Medicine 2	健康と医療
				34	Assessment	評価

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	文型①	文法の基礎
学 科 名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	2	文型②	文法の基礎
学 年	2年	担当教員	皆川/小林/寺田	3	文型③	文法の基礎
科 目 名	英文法	時間数	68単位時間	4	文型④	文法の基礎
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	文型⑤	文法の基礎
使用テキスト名	基礎からのジャンプアップノート英文法演習ドリル、とってもやさしい英文法			6	時制①	文法の基礎
補助教材				7	時制②	文法の基礎
				8	時制③	文法の基礎
科目概要と科目到達目標				9	不定詞・動名詞①	文法の基礎
科目到達目標:基礎的な文法から応用まで、基礎的な文法をマスターしたうえで複雑な文法まで理解・記憶し、英検やTOEICでのスコアアップを目指し、会話においても正確な発話に結びつける。				10	不定詞・動名詞②	文法の基礎
				11	不定詞・動名詞③	文法の基礎
				12	受動態・分詞①	文法の基礎
				13	受動態・分詞②	文法の基礎
				14	評価テスト	評価
授業の進め方・学習方法・課題				15	関係詞①	応用
初級、中級、上級とレベル別のクラス編成をし、復習を兼ねながら文法のベーシックを学ぶ。 基礎力を身に付け、読解やリスニング、発話においても正確性を重視する。 ミニテストによる学習進捗状況の確認。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	関係詞②	応用
				17	比較①	応用
				18	比較②	応用
				19	仮定法①	応用
				20	仮定法②	応用
評価方法・成績評価基準				21	仮定法③	応用
①定期試験50% ②TOEIC公式テストスコア20% ③課題提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	さまざまな構文や表現①	応用
				23	さまざまな構文や表現②	応用
				24	さまざまな構文や表現③	応用
				25	接続詞・前置詞①	応用
				26	接続詞・前置詞②	応用
				27	重要名詞	応用
				28	重要形容詞	応用
				29	重要動詞	応用
				30	助動詞	応用
				31	重要フレーズ①	応用
				32	重要フレーズ②	応用
実務経験教員の経歴				33	重要フレーズ③	応用
貿易会社での翻訳業務経験7年 大手英会話教室講師経験あり				34	評価	まとめテスト

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	1	PART 1 Vowels	母音の発音を理解する
学 年	2年	担当教員	Maya Skeele/Neil Maclean	2	Vowel Overview	母音の発音を理解する
科 目 名	Pronouciation II	時間数	34単位時間	3	After Vowels	母音の発音を理解する
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	Part II Consonants	母音の発音を理解する
使用テキスト名	Focus on Pronunciation 2			5	Consonant Overview	母音の発音を理解する
補助教材				6	Beginning and Fnal Consonants	子音の発音を理解する
科目概要と科目到達目標				7	Past Tense Endings	子音の発音を理解する
				8	Plurals, Possessives, and Present Tense	子音の発音を理解する
科目概要: 日本語の発音とアメリカ英語の発音の違いを学び、実際のコミュニケーションに役立つ力を養う 科目到達目標: ネイティブスピーカーとのコミュニケーションに支障のないレベルの発音を身に着け、 日常会話、ビジネスにおけるスムーズな会話を実現する				9	Consonant Clusters	子音の発音を理解する
				10	Beginning Cosonant Clusters	子音の発音を理解する
				11	Final Consonant Clusters; Joining Workds	子音の発音を理解する
				12	Stress in Words 1	ストレス
				13	Stress in Words 2	ストレス
				14	Assessment	評価
授業の進め方・学習方法・課題				15	Parts of Speech 2	ストレス
CDに合わせて日本人が苦手な母音の特徴を理解し、ネイティブと練習する				16	Stressed Syllables 1	ストレス
				17	Stressed Syllables 2	ストレス
				18	Compound Nouns 1	名詞
				19	Compound Nouns 2	名詞
対面授業と遠隔授業の併用実施				20	Rhythm and Intonation 1	リズムとイントネーション
評価方法・成績評価基準				21	Rhythm and Intonation 2	リズムとイントネーション
定期テストの点数30%、発音の正確さ30%、出席率20%、授業態度20% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	Content and Function Words 1	機能語と内容後
				23	Content and Function Words 2	機能語と内容後
				24	Highlighting Important Words 1	重要語の強調
				25	Highlighting Important Words 2	重要語の強調
				26	Reduced Words 1	脱落と弱化
				27	Reduced Words 2	脱落と弱化
				28	Contractions and Reductions of Verbs 1	動詞
				29	Contractions and Reductions of Verbs 2	動詞
				30	Rhythm Patterns of Prepositions 1	前置詞のリズム
				31	Rhythm Patterns of Prepositions 2	前置詞のリズム
実務経験教員の経歴				32	Rising and and Falling Intonation 1	イントネーション
				33	Rising and and Falling Intonation 2	イントネーション
				34	Assessment	Assessment

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい				
学 科 名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	1	第1章 日本によこそ！まずは東京案内を	人口、地形と面積、文字、敬語				
学 年	2年	担当者	阿部塊地 / 小林恵子	2	第1章 日本によこそ！まずは東京案内を					
科 目 名	Express Japanese Cultures in English II	週時間数	34単位時間	3	第1章 日本によこそ！まずは東京案内を					
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	第1章 日本によこそ！まずは東京案内を					
使用テキスト名	日本のことを1分間英語で話してみる			5	第1章 日本によこそ！まずは東京案内を					
補助教材				6	第1章 日本によこそ！まずは東京案内を					
科目概要と科目到達目標				7	第2章 自宅に招待しよう	おもてなし、ハイテクトイレ、コンビニ、パチンコ、カラオケ				
科目概要: 日本文化を英語でどのように紹介するかを学びながら、プレゼンテーションスキルを身に付ける。 科目到達目標: 実際に外国人の前で日本文化を説明し、質問に対応する				8	第2章 自宅に招待しよう					
				9	第2章 自宅に招待しよう					
				10	第2章 自宅に招待しよう					
				11	第2章 自宅に招待しよう					
				12	第2章 自宅に招待しよう					
				授業の進め方・学習方法・課題				13	第3章 旅館に泊ってみよう	新幹線、旅館、日本庭園、温泉
テキスト内に記載されている日本についての基本的な事柄を記憶して、外国人に説明ができるようになる。 想定される質問を含めて、プレゼンテーションスキルを身に付ける				14	第3章 旅館に泊ってみよう					
				15	第3章 旅館に泊ってみよう					
				16	第3章 旅館に泊ってみよう					
				17	評価テスト					
対面授業と遠隔授業の併用実施				18	第4章 関西を楽しもう	京都、大阪、方言、神社と寺、芸者				
評価方法・成績評価基準				19	第4章 関西を楽しもう					
				20	第4章 関西を楽しもう					
				21	第4章 関西を楽しもう					
				22	第4章 関西を楽しもう					
①実習50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	第5章 日本の年中行事について話そう	正月、節分、バレンタインデーとホワイトデー、運動会、お盆				
				24	第5章 日本の年中行事について話そう					
				25	第5章 日本の年中行事について話そう					
				26	第5章 日本の年中行事について話そう					
				実務経験教員の経歴				27	第5章 日本の年中行事について話そう	結婚式、神社参り、寺参り、戸籍と住民票、学校制度
								28	第6章 日本のしきたりを説明しよう	
29	第6章 日本のしきたりを説明しよう									
30	第6章 日本のしきたりを説明しよう									
31	第6章 日本のしきたりを説明しよう									
32	第6章 日本のしきたりを説明しよう									
				33	第6章 日本のしきたりを説明しよう					
				34	評価テスト					

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	1	【演習】文の内容一致選択 ①	リスニング力を向上させる
学年	2年	担当教員	坂上啓貴	2	【演習】文の内容一致選択 ②	リスニング力を向上させる
科目名	Intensive English II	時間数	34単位時間	3	【演習】音読パッセージ問題①	スピーキング力を向上させる
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	【演習】音読パッセージ問題②	スピーキング力を向上させる
使用テキスト名	Intensive English Student Work Book			5	短文の語句空所補充①	リーディング力を向上させる
補助教材				6	短文の語句空所補充②	リーディング力を向上させる
科目概要と科目到達目標				7	会話の内容一致選択①	リスニング力を向上させる
				8	会話の内容一致選択②	リスニング力を向上させる
読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し総合的な英語力を身に付ける 様々なシチュエーションに対応できる英語力を身に付ける				9	イラスト問題①	スピーキング力を向上させる
				10	イラスト問題②	スピーキング力を向上させる
				11	意見・応答問題①	スピーキング力を向上させる
				12	意見応答問題②	スピーキング力を向上させる
				13	意見応答問題③	スピーキング力を向上させる
				14	長文の語句空所補充	リーディング力を向上させる
授業の進め方・学習方法・課題				15	長文の語句空所補充	リーディング力を向上させる
語彙、センテンス、リーディングを音読中心に継続して行う 集中力を高められるよう個々での学習を増やす 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	Eメールの内容一致	ビジネスシチュエーションに対応する
				17	Eメールの内容一致	ビジネスシチュエーションに対応する
				18	Eメールの内容一致	ビジネスシチュエーションに対応する
				19	Eメールの内容一致	ビジネスシチュエーションに対応する
				20	意見応答問題④	スピーキング力を向上させる
評価方法・成績評価基準				21	意見応答問題⑤	スピーキング力を向上させる
①課題提出率50% ② 定期テスト20% ③ 出席率20% ④授業態度10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	CALLAN METHOD Lesson 1	会話表現をマスターする
				23	CALLAN METHOD Lesson 2	会話表現をマスターする
				24	CALLAN METHOD Lesson 3	会話表現をマスターする
				25	CALLAN METHOD Lesson 4	会話表現をマスターする
				26	CALLAN METHOD Lesson 5	状況に応じた返答の仕方をマスターする
				27	CALLAN METHOD Lesson 6	状況に応じた返答の仕方をマスターする
				28	CALLAN METHOD Lesson 7	状況に応じた返答の仕方をマスターする
				29	CALLAN METHOD Lesson 8	問題提起をする
				30	CALLAN METHOD Lesson 9	問題提起をする
				31	Revusion Exercise 1	様々な状況に応じた質問に返答する
実務経験教員の経歴				32	Revusion Exercise 2	様々な状況に応じた質問に返答する
				33	Revusion Exercise 3	様々な状況に応じた質問に返答する
				34	Revusion Exercise 4	様々な状況に応じた質問に返答する

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	1	バイデン政権始動	報道に対する多面的な見方と理解
学年	2年	担当教員	阿部塊地 / 宇都宮央乃	2	ヘイトクライム	報道に対する多面的な見方と理解
科目名	メディアリテラシー	時間数	17単位時間	3	アフガニスタン動乱	報道に対する多面的な見方と理解
開講期間	前期	授業形態	対面・オンライン授業	4	中国の支配が強まる香港	報道に対する多面的な見方と理解
使用テキスト名	日本と世界の時事キーワード			5	一帯一路	報道に対する多面的な見方と理解
補助教材				6	岸田内閣誕生	報道に対する多面的な見方と理解
科目概要と科目到達目標				7	改憲の論点	報道に対する多面的な見方と理解
				8	消費税	報道に対する多面的な見方と理解
科目概要: 報道されている海外や国内のニュースについて、報道内容に留まらず、あらゆるメディアを使用して深読みし、隠されている問題の背景や原因をリサーチすることにより多面的な見方を習得する。 また、就職活動時に活かせるよう一般知識としてニュース報道を学ぶ				9	民間宇宙開発	報道に対する多面的な見方と理解
				10	スーパーシティ構想	報道に対する多面的な見方と理解
				11	新型コロナワクチン	報道に対する多面的な見方と理解
				12	GAFA(ガーファ)	報道に対する多面的な見方と理解
				13	SNSのメディア化	報道に対する多面的な見方と理解
				14	働き方改革	報道に対する多面的な見方と理解
				15	外国人労働者	報道に対する多面的な見方と理解
授業の進め方・学習方法・課題				16	子供の貧困	報道に対する多面的な見方と理解
				17	テスト	評価
個人で、あるいはグループで深読みをすることに概要をまとめる。自分の意見や感想を述べられるだけの材料を揃え、授業内で発表する。 対面授業と遠隔授業の併用実施				18		
				19		
				20		
				21		
評価方法・成績評価基準				22		
出席30%、テスト30%、課題40% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				実務経験教員の経歴		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	上級英語科	必須・選択	必須	1	Introductions	All macro skills emphasis; predict, interpret, reflect, synthesize, personalize, and evaluate
学年	2年	担当教員	Charlene Imai	2	Listening	Listening for Numbers or Statistics
科目名	Media and Communication	時間数	34 hours	3	Speaking	Give Tips or Suggestions
開講期間	通年	授業形態	対面	4	Video Analyze	observe demonstration; prepare presentation
使用テキスト名				5	Presentation: Focus Your Topic	Create and present
補助教材				6	Connecting to Nature	All macro skills emphasis; predict, interpret, reflect, infer, synthesize, personalize, and evaluate
科目概要と科目到達目標				7	Listening	Listening for Main Ideas
				8	Speaking	Using Descriptive Language
This course is designed to enable students to encounter English in various kinds of media. We will watch, listen to, and read materials from videos, movies, short stories, and comics focused on U.S. culture. Then we will discuss and interact with said materials. This course will offer ample opportunities for students to experience content made for native English speakers.				9	Video Analyze	observe demonstration; prepare presentation
				10	Presentation: Use Visual Aids	Create and present
				11	Going Places	All macro skills emphasis; predict, interpret, reflect, infer, synthesize, and evaluate
				12	Listening	Listening for Signposts
				13	Speaking	Using Listing Signals
				14	Video Analyze	observe demonstration; prepare presentation
授業の進め方・学習方法・課題				15	Presentation: Rehearse Your Presentation	Create and present
				16	Music, Music Everywhere	All macro skills emphasis; analyze, personalize, predict, interpret, reflect, synthesize, and evaluate
				17	Listening	Listening for Main Ideas
				18	Speaking	Give reasons
				19	Video Analyze	observe demonstration; prepare presentation
The challenge of the course is to understand real English and express opinions in English freely. By using English as the primary language, students will be immersed in the language and gain a wider perspective on a range of topics.				20	Presentation: Use an Effective Hook	Create and present
				21	Give Thanks	All macro skills emphasis; analyze, personalize, predict, interpret, reflect, synthesize, and evaluate
				22	Listening	Listening for Key Words and Phrases
				23	Speaking	Support Ideas with Examples
				24	Video Analyze	observe demonstration; prepare presentation
				25	Presentation: Individual Presentation	Create and present
評価方法・成績評価基準				26	Tell Me Why...	All macro skills emphasis; analyze, personalize, predict, interpret, reflect, synthesize, and evaluate
				27	Listening	Listening for Main Ideas
				28	Speaking	Show Interest
				29	Video Analyze	observe demonstration; prepare presentation
				30	Presentation: Consider Your Audience	Create and present
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				31	The Livable City	All macro skills emphasis; analyze, personalize, predict, interpret, reflect, synthesize, and evaluate
				32	Listening & Speaking	Listening for Problems/Solutions; Talk About Solutions
				33	Video Analyze	observe demonstration; prepare presentation
				34	Presentation: Organize a Problem-Solution Presentation	Create and present
【成績評価基準】						
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた						
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している						
C=良(79-70点) 到達目標を達成している						
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している						
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない						
実務経験教員の経歴						

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	1	UNIT 1 Self Introduction	Self Introduction, Posture
学年	2年	担当教員	Mark Palmer/Spits Mathew	2	UNIT 1 Self Introduction	Self Introduction, Posture
科目名	Presentation II	時間数	34単位時間	3	UNIT 1 Self Introduction	Self Introduction, Posture
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	UNIT 2 Hometown	Overview, Eye Contact
使用テキスト名	Successful Presentations			5	UNIT 2 Hometown	Overview, Eye Contact
補助教材				6	UNIT 2 Hometown	Overview, Eye Contact
科目概要と科目到達目標 科目概要: グループで紹介したい商品を売り出すための戦略をたてプレゼンテーションを行う。 科目到達目標: 全員でグループになり、戦略をたて、プレゼンテーションを作成することで学生同志の競争力やモチベーションとなり、調べることで英語力が上達し、人前に立つことに慣れ、協調性も芽生える。				7	UNIT 3 Family	Details, Gesture
				8	UNIT 3 Family	Details, Gesture
				9	UNIT 3 Family	Details, Gesture
授業の進め方・学習方法・課題 テキストに沿ってパラグラフを理解しながら、場面状況に応じてプレゼンをする。 対面授業と遠隔授業の併用実施				10	UNIT 4 Interests	Conlusion, Stage Position
				11	UNIT 4 Interests	Conlusion, Stage Position
				12	UNIT 4 Interests	Conlusion, Stage Position
				13	UNIT 5 Education	Introcutory Phrases, Projection
評価方法・成績評価基準 1分間のプレゼンテーションの試験30%、授業態度40%、出欠状況30% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				14	UNIT 5 Education	Introcutory Phrases, Projection
				15	UNIT 5 Education	Introcutory Phrases, Projection
				16	Assesment	
				17	UNIT 6 Culture Shock	Signpost Expressons, Enunciation
				18	UNIT 6 Culture Shock	Signpost Expressons, Enunciation
				19	UNIT 6 Culture Shock	Signpost Expressons, Enunciation
				20	UNIT 7 Stereotypes	Faxts & Opinions, Intonation
				21	UNIT 7 Stereotypes	Faxts & Opinions, Intonation
				22	UNIT 7 Stereotypes	Faxts & Opinions, Intonation
				23	UNIT 8 Population	Supporting Evidence, Phrasing
				24	UNIT 8 Population	Supporting Evidence, Phrasing
				25	UNIT 8 Population	Supporting Evidence, Phrasing
				26	UNIT 9 Events	Informing, Anticipating Questions
				27	UNIT 9 Events	Informing, Anticipating Questions
				28	UNIT 9 Events	Informing, Anticipating Questions
				29	UNIT 10 Places	Describing, Understanding Questions
				30	UNIT 10 Places	Describing, Understanding Questions
				31	UNITE 11 Opinions	Persuading, Checking Understanding
実務経験教員の経歴				32	UNITE 11 Opinions	Persuading, Checking Understanding
				33	UNITE 11 Opinions	Persuading, Checking Understanding
				34	Assesment	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	1	Unit 01 I'm...	日常生活における基本パターン
学年	2年	担当教員	小林恵子/坂上啓貴	2	Unit 02 I'm -ing	日常生活における基本パターン
科目名	英語表現Ⅱ	時間数	34単位時間	3	Unit 03 I'm going to...	日常生活における基本パターン
開講期間	前期	授業形態	対面・オンライン授業	4	Unit 04 I can't...	日常生活における基本パターン
使用テキスト名	英会話 超リアルパターン500+			5	Unit 05 Don't...	日常生活における基本パターン
補助教材				6	Unit 06 It's...	日常生活における基本パターン
科目概要と科目到達目標 科目概要:日常生活における基本的なフレーズをくり返しパターントレーニングすることにより、ネイティブスピーカーとの会話におけるスムーズな受け答えを目指す。 科目到達目標:アウトプットの明確なゴールを設定し、スピーキング能力の工場を目指す				7	Unit 07 Is it...?	日常生活における基本パターン
				8	Unit 08 That's...	日常生活における基本パターン
授業の進め方・学習方法・課題 基本的でかつ使用頻度が高いと思われる表現を身に付ける。くり返しトレーニングすることで、瞬発力を身に付ける。 対面授業と遠隔授業の併用実施				9	Unit 09 There is...	日常生活における基本パターン
				10	Unit 10 Who	疑問詞パターン
				11	Unit 11 what	疑問詞パターン
				12	Unit 12 when & where	疑問詞パターン
評価方法・成績評価基準 出席率50%、テスト40%、課題提出10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				13	Unit 13 why	疑問詞パターン
				14	Unit 14 how	疑問詞パターン
				15	Unit 15 how+形容詞/副詞	疑問詞パターン
				16	Unit 16 いろいろな感情表現	シチュエーション別必須表現
				17	Assessment	Test
				18	Unit 17 考え・意見を述べる表現	シチュエーション別必須表現
				19	Unit 18 提案する表現	シチュエーション別必須表現
実務経験教員の経歴				20	Unit 19 義務の表現	シチュエーション別必須表現
				21	Unit 20 確信する表現	シチュエーション別必須表現
				22	Unit 21 願望の表現	シチュエーション別必須表現
				23	Unit 22 感謝・謝罪の表現	シチュエーション別必須表現
				24	Unit 23 好き・嫌いの表現	シチュエーション別必須表現
				25	Unit 24 have p.p.	リアル英会話パターン
				26	Unit 25 should have p.p.	リアル英会話パターン
				27	Unit 26 Let	リアル英会話パターン
				28	Unit 27 mean	リアル英会話パターン
				29	Unit 28 覚えておきたい重要パターン	リアル英会話パターン
				30	パターンリアル英会話	日常英会話必須パターン
				31	パターンリアル英会話	日常英会話必須パターン
				32	総復習	
				33	総復習	
				34	Assessment	テスト

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	1	SUCCESS P59～62企業訪問について①質問事	就職活動の心構え
学年	2年	担当教員	矢後達夫	2	SUCCESS P63 企業訪問のお礼状について	お礼状の書き方
科目名	キャリアアップⅡ	時間数	34単位時間	3	最新最強の一般常識 総合問題	一般常識問題対策
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
使用テキスト名	勝つための就職ガイドSUCCESS 最新最強の一般常識 最新最強のSPI			5	SUCCESS P66 就職試験のマナー	面接時のマナーの理解
補助教材				6	SUCCESS P67 控室でのマナー	面接時のマナーの理解
				7	SUCCESS P68～69 椅子の座り方、お辞儀の仕	立ち居振舞について
				8	最新最強の一般常識 総合問題	一般常識問題対策
科目概要と科目到達目標				9	最新最強の一般常識 総合問題	一般常識問題対策
科目概要: 就職活動に必要な自己分析、書類作成、面接指導を行う				10	SUCCESS P70 面接試験対策 ①面接試験の形	面接対策
科目到達目標: 就職試験に向けて、履歴書の内容を自分の言葉で自分らしく伝えられ、希望先企業への内定が目標。				11	個人面接 ①受験者1に対して面接官1人②受験	面接対策
				12	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
				13	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
				14	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
授業の進め方・学習方法・課題				15	SUCCESS P71 面接試験対策 ①集団面接につ	集団面接で大切なこと
就職試験の為に一般常識問題、SPI対策を中心に、模擬面接、グループディスカッションを行い、面接試験に備える。				16	SUCCESS P71 面接試験対策 ①グループディス	グループディスカッション
対面授業と遠隔授業の併用実施				17	集団面接練習 実践	面接練習のコツ
				18	集団面接練習 実践	面接練習のコツ
				19	グループディスカッション 実践	模擬グループディスカッション
				20	グループディスカッション 実践	模擬グループディスカッション
評価方法・成績評価基準				21	グループディスカッション 実践	模擬グループディスカッション
①一般常識テスト30%②書類作成の理解度10%③出席率50%④面接対策10%				22	SUCCESS P79 圧迫面接の対処法	圧迫面接時の対処法とは
【成績評価基準】				23	スピーチの訓練	人前での1分間のスピーチのポイント
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	スピーチの実践演習	実践1分間のスピーチのポイント
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	適性検査について	業界によって違う検査の特徴
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	適性検査の種類と内容	業界によって違う検査の特徴
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	受験後の報告	入社承諾書、お礼状の書き方
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	最新最強の一般常識 非言語能力問題	SPI対策問題
				29	最新最強の一般常識 非言語能力問題	SPI対策問題
				30	最新最強の一般常識 非言語能力問題	SPI対策問題
				31	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題
実務経験教員の経歴				32	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題
				33	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題
				34	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	1	アジア（韓国・中国）	海外地理知識の習得Ⅰ
学年	2年	担当教員	矢後 達夫	2	アジア（中国・東南アジア）	海外地理知識の習得Ⅰ
科目名	世界地理	時間数	34単位時間	3	アジア（東南アジア・中央アジア）	海外地理知識の習得Ⅰ
開講期間	前期及び後期	授業形態	対面授業	4	ヨーロッパ（フランス・イギリス・ドイツ）	海外地理知識の習得Ⅰ
使用テキスト名	地理×文化×雑学で今が見える「世界の国々」			5	ヨーロッパ（ドイツ・イタリア・東欧）	海外地理知識の習得Ⅰ
補助教材	パワーポイントスライド、一部「PDF教材」使用、			6	ヨーロッパ（東欧・北欧）	海外地理知識の習得Ⅰ
科目概要と科目到達目標				7	北米（アメリカ）	海外地理知識の習得Ⅰ
				8	北米（アメリカ・カナダ）	海外地理知識の習得Ⅰ
海外観光資源の学習。旅行者が訪れる世界の観光地等の理解を深める。 映像を積極的に取り入れて理解度を深める。 前期と後期の定期テストで80%以上の得点を目指す。 次年度の世界遺産検定の受験推奨。				9	ハワイ	海外地理知識の習得Ⅰ
				10	オセアニア（オーストラリア）	海外地理知識の習得Ⅰ
				11	オセアニア（ニュージーランド・ポリネシア）	海外地理知識の習得Ⅰ
				12	中南米	海外地理知識の習得Ⅰ
				13	中東・アフリカ	海外地理知識の習得Ⅰ
授業の進め方・学習方法・課題				14	中東・アフリカ	海外地理知識の習得Ⅰ
				15	ミクロネシア・メラネシア	海外地理知識の習得Ⅰ
海外観光資源の学習。旅行者が訪れる世界の観光地等の理解を深める。 映像を積極的に取り入れて理解度を深める。 前期と後期に1～3回ずつオンラインツアー授業を実施する。				16	アジア（韓国・中国）	海外地理知識の習得Ⅱ
				17	アジア（中国・東南アジア）	海外地理知識の習得Ⅱ
				18	アジア（東南アジア・中央アジア）	海外地理知識の習得Ⅱ
				19	ヨーロッパ（フランス・イギリス・ドイツ）	海外地理知識の習得Ⅱ
				20	ヨーロッパ（ドイツ・イタリア・東欧）	海外地理知識の習得Ⅱ
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②課題20% ③授業への積極的参加20% ④学習意欲(態度)10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				21	ヨーロッパ（東欧・北欧）	海外地理知識の習得Ⅱ
				22	北米（アメリカ）	海外地理知識の習得Ⅱ
				23	北米（アメリカ・カナダ）	海外地理知識の習得Ⅱ
				24	ハワイ	海外地理知識の習得Ⅱ
				25	オセアニア（オーストラリア）	海外地理知識の習得Ⅱ
				26	オセアニア（ニュージーランド・ポリネシア）	海外地理知識の習得Ⅱ
				27	中南米	海外地理知識の習得Ⅱ
				28	中東・アフリカ	海外地理知識の習得Ⅱ
				29	中東・アフリカ	海外地理知識の習得Ⅱ
				30	ミクロネシア・メラネシア	海外地理知識の習得Ⅱ
				31	各地域を映像で振り返り	ヨーロッパ
実務経験教員の経歴 旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 10年間				32	各地域を映像で振り返り	アジア
				33	各地域を映像で振り返り	アメリカ
				34	各地域を映像で振り返り	オセアニア・アフリカ

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	1	オリエンテーション	授業の到達目標について理解する
学年	2年	担当教員	阿部/北村/坂上/矢後	2	地域にあるSDGs問題①	自分の身の回りにあるSDGsの問題を考える
科目名	国際理解Ⅱ	時間数	68単位時間	3	地域にあるSDGs問題②	積極的に取り組んでいる地域企業やグループを調査
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	地域にあるSDGs問題③	参加可能なイベントを調査
使用テキスト名				5	役割分担	役割分担を行い効率的な活動につなげる
補助教材				6	地域の問題を解決するための行動とは①	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
				7	地域の問題を解決するための行動とは②	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
				8	地域の問題を解決するための行動とは③	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
科目概要と科目到達目標				9	イベント企画案や広報案の提示①	企業や自治体への働き掛け
SDGsの「未来を変える目標」を理解し、実現するためにはどのような行動をすべきか考える。				10	イベント企画案や広報案の提示②	企業や自治体への働き掛け
ゴール11「住み続けられるまちづくりを」を全校の共通課題テーマに設定し、				11	活動①	1回目 SDGs問題解決のための活動
「社会」「経済」「環境」の3要素を調和させた問題解決策を提案する。				12	活動②	1回目 SDGs問題解決のための活動
また、日本だけではなく世界各地の取り組みも取り上げ、日本と比較しながら				13	活動③	1回目 SDGs問題解決のための活動
世界の未来について自分が起こせるアクションを考え、行動していく。				14	活動の振り返り①	活動の問題提起 振り返り
授業の進め方・学習方法・課題				15	活動の振り返り②次回への提案	改善点の提起
前期では、新潟県のゴール11「住みやすいまちづくり」について、持続可能にするためには				16	活動④	2回目 SDGs問題解決のための活動
どのような工夫や行動が必要かグループで議論する。問題解決のための企業連携を模索する。				17	活動⑤	2回目 SDGs問題解決のための活動
後期では、前期で出てきた活動案を企業・団体と共に実行に移し、振り返りを行う				18	活動⑥	2回目 SDGs問題解決のための活動
PDCAサイクルを年間を通して意識し、グループワークを行う。				19	活動の振り返り③	活動の問題提起 振り返り
評価方法・成績評価基準				20	活動の振り返り④次回への提案	改善点の提起
①発表内容40% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物20% ④学習意欲10%				21	活動⑦	3回目 SDGs問題解決のための活動
【成績評価基準】				22	活動⑧	3回目 SDGs問題解決のための活動
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				23	活動⑨	3回目 SDGs問題解決のための活動
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				24	活動の振り返り⑤	活動の問題提起 振り返り
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				25	活動の振り返り⑥	改善点の提起
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				26	活動内容の報告、発表準備①	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				27	活動内容の報告、発表準備②	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
				28	活動内容の報告、発表準備③	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
				29	活動内容の報告、発表準備④	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
				30	発表①	一年の活動報告
				31	発表振り返り	
実務経験教員の経歴				32	来年度への提言①	来年度の企画立案
				33	来年度への提言②	来年度の企画立案
				34	来年度への提言③	来年度の企画立案

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際英語コミュニケーション科	必須・選択	必須	1	Part1. 1. Conclusion / Reasons	説得力のある理由から結論へと導く
学年	2年	担当教員	寺田喜之/坂上啓貴	2	Part1. 1. Conclusion / Reasons	説得力のある理由から結論へと導く
科目名	Writing II	時間数	34単位時間	3	Part1. 1. Conclusion / Reasons	説得力のある理由から結論へと導く
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	Part1. 2. Social Trends	社会事象を考える
使用テキスト名	Skills for Better Writing			5	Part1. 2. Social Trends	社会事象を考える
補助教材				6	Part1. 2. Social Trends	社会事象を考える
科目概要と科目到達目標 科目概要: テキストに従ってエッセイライティングを学ぶ。 形式と段落、表現方法を身に付ける。 文法的に正しく、論理的で説得力のある文章を目指して多くの課題に挑戦し、 添削を受けることにより文章力、構成力を身に付ける				7	Part1. 3. Results / Causes	原因を究明する
				8	Part1. 3. Results / Causes	原因を究明する
				9	Part1. 3. Results / Causes	原因を究明する
授業の進め方・学習方法・課題				10	Part 2. 4. Several Explanations	いくつかの説明
				11	Part 2. 4. Several Explanations	いくつかの説明
				12	Part 2. 4. Several Explanations	いくつかの説明
形式を学んだ後でエッセイを作成。評価。				13	Part 2. 5. Comparison	比較
				14	Part 2. 5. Comparison	比較
				15	Part 2. 5. Comparison	比較
対面授業と遠隔授業の併用実施				16	Part 2. 6. For and Against	賛成と反対
				17	Part 2. 6. For and Against	賛成と反対
				18	Part 2. 6. For and Against	賛成と反対
評価方法・成績評価基準				19	Part 2. 7. Classification	分類
				20	Part 2. 7. Classification	分類
				21	Part 2. 7. Classification	分類
出席30%、テスト30%、課題40% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	Part 3. 8. History	歴史
				23	Part 3. 8. History	歴史
				24	Part 3. 8. History	歴史
				25	Part 3. 9. Processes	課程を説明する
				26	Part 3. 9. Processes	課程を説明する
				27	Part 3. 9. Processes	課程を説明する
				28	Part 3. 10. Causes and Effects	原因と結果
				29	Part 3. 10. Causes and Effects	原因と結果
				30	Part 4. 11. Definition of a New Word	新しい言葉を説明する
				31	Part 4. 11. Definition of a New Word	新しい言葉を説明する
実務経験教員の経歴				32	Part 4. 12. Research	調査
				33	Part 4. 12. Research	調査
				34	Assessment	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	第一課～第九課まで復習	一年で学習した範囲を復習する
学科名	全学科	必須・選択	選択必修	2	第十課	「主述述語文」「了」の習得
学年	2年	担当教員	富田	3	第十課	「少し」の言い方の習得
科目名	第二外国語中国語Ⅱ	時間数	68単位時間	4	第十課	願望・意思を表す助動詞の習得
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	第十一課	動作の進行を表す表現の習得
使用テキスト名	中国語への道【初級編】—近きより遠きへ— 改訂版			6	第十一課	「連動文」の使い方を学ぶ
補助教材	中国語検定過去問題			7	第十一課	「結果補語」の習得
				8	第十一課	動詞や形容詞で名詞を修飾する文を学ぶ
科目概要と科目到達目標				9	中国語検定準4級対策	中国語検定準4級合格レベルに到達する
中国語検定試験4級取得または4級取得程度の文法と単語を習得する。				10	中国語検定準4級対策	中国語検定準4級合格レベルに到達する
文法の確認を中心にしながら中国語の基礎を学び、挨拶や自己紹介、買い物や観光等の場面で、				11	第十二課	可能を表す助動詞の習得
現地で通じる中国語の習得を目指す。				12	第十二課	必然・当然を表す助動詞の習得
				13	第十二課	強調構文の習得
				14	第十三課	様態補語の習得
授業の進め方・学習方法・課題				15	第十三課	二重目的語をとる動詞とその使い方を学ぶ
主に講義を通じて、文法を確認しながら、日常のさまざまな場面で使える中国語を学ぶ。				16	第十三課	受身文の習得
発音の訓練を継続的に行い、適宜検定の過去問題にも取り組む。				17	前期試験	前期学習内容の定着
				18	第十四課	存現文の習得
				19	第十四課	方向補語の習得
				20	第十四課	可能補語の習得
評価方法・成績評価基準				21	第十四課	処置式文の習得
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	第十五課	状況を確認する「是不是」の表現を習得
【成績評価基準】				23	第十五課	場面ごとの「また」の種類について学ぶ
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	第十五課	反語表現について学ぶ
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	第十五課	使役文を習得
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	中国語検定4級対策	中国語検定4級合格レベルに到達する
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	中国語検定4級対策	中国語検定4級合格レベルに到達する
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	中国語検定4級対策	中国語検定4級合格レベルに到達する
				29	中国語検定4級対策	中国語検定4級合格レベルに到達する
				30	第十六課	重要な複文の習得
				31	第十六課	禁止表現の習得
実務経験教員の経歴				32	第十六課	「有」を使った兼語文について学ぶ
				33	テキストのまとめ	本文の暗唱やリスニング問題に取り組む。
				34	後期試験	後期学習内容の定着

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	全学科	必須・選択	選択必修	1	韓国語について	文字、基本的な発音の習得
学 年	2年	担当教員	柳・宇都宮	2	基本の母音	母音の特徴を学ぶ
科 目 名	韓国語Ⅱ	時間数	68	3	基本の子音	子音の特徴を学ぶ
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	合成母音	母音の種類について学ぶ
使用テキスト名	基礎から学ぶ韓国語講座 初級 改訂版			5	パッチム	位置や場所を話すことができる
補助教材				6	文字の復習	文字についての総まとめ
科目概要と科目到達目標				7	基本的なフレーズと挨拶	挨拶の種類とフレーズを使う
				8	第1課 私は浅井ゆかりです	自己紹介ができる
科目概要:韓国語の基礎を学び挨拶などのコミュニケーションがとれるようにする 科目到達目標:ハングル能力検定試験 5級取得				9	第2課 出身はソウルですか	出身地について学ぶ
				10	第3課 図書館ではありません	時間を話す
				11	第4課 時間がありますか	日にちを話す
				12	第5課 何をしますか	やりたいことを伝える
				13	第6課 貿易会社で働いています	仕事について話す
				14	第7課 服を買います	予定について話す
				15	前期 復習①	テキストの復習
授業の進め方・学習方法・課題 テキストに沿って問題を進めていき、ワークブックの問題を解く				16	前期 復習②	テキストの復習
				17	前期試験	
				18	第8課 スーパーでよく買います①	買い物に必要なことを話す
				19	第8課 スーパーでよく買います②	豆体が作れる
				20	第9課 1万ウォンです①	お金について学ぶ
				21	第9課 1万ウォンです②	お釣りについて学ぶ
				22	ハングル能力試験5級検定対策 ①	模擬問題を解く
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	ハングル能力試験5級検定対策 ②	模擬問題を解く
				24	ハングル能力試験5級検定対策 ③	模擬問題を解く
				25	ハングル能力試験5級検定対策 ④	模擬問題を解く
				26	第10課 今、何時ですか①	時間について話す
				27	第10課 今、何時ですか②	時間について話す
				28	第11課 日本語を話されますか①	第3者に紹介する
				29	第11課 日本語を話されますか②	よりフォーマルな場で自己紹介する
				30	第12課 バスは行きません①	乗り物について話す
				31	第12課 バスは行きません②	乗り物について話す
				実務経験教員の経歴		
33	後期 復習②	テキストの復習				
34	後期試験					

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション	手話の基礎知識 (目指すもの・評価・検定) 自己紹介
学科名	全科	必須・選択	選択必須	2	自己紹介①	名前 あいさつ 指文字
学年	2年	担当教員	中林幸恵	3	自己紹介①	名前 あいさつ 指文字
科目名	初級手話	時間数	17単位時間	4	自己紹介①	名前 あいさつ 指文字
開講期間	後期	授業形態	対面授業	5	自己紹介②	誕生日 星座 数 年齢 指文字
使用テキスト名	ゼロからわかる手話入門			6	自己紹介②	誕生日 星座 数 年齢 指文字
補助教材	パワーポイント			7	自己紹介②	誕生日 星座 数 年齢 指文字
				8	自己紹介③	年齢 月日 曜日 指文字
科目概要と科目到達目標				9	自己紹介③	年齢 月日 曜日 指文字
手話検定試験6級取得に向けた授業展開				10	都道府県①	北海道～北陸地方
⇒基本的な手話表現力ができる あいさつ、自己紹介、趣味について相手に尋ねたり答えたりすることができる				11	都道府県②	関東地方～中国地方
⇒更に、お店や窓口で簡単な接客の会話や日付や時刻、金額など数字の入った表現ができる。				12	都道府県③	山陰地方～沖縄地方
				13	都道府県④	確認チェック
				14	ゲーム	都道府県カルタ
授業の進め方・学習方法・課題				15	簡単接客手話	挨拶・ご案内他
手話で自己紹介ができるよう、基礎的な手話授業実施。				16	まとめ	まとめ
指文字・挨拶・数字など、ちょっとした接客会話ができるようロールプレイ実施				17	期末試験	手話検定試験6級レベル
○対面授業と遠隔授業の併用実施				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験 15% ②授業への積極的参加(出席率)40% ③提出物 5% ④学習意欲30%				22		
【成績評価基準】				23		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	全科	必須・選択	選択必須	1	映画と歴史の関係性を解く	映画史とその時の時代背景を理解する
学年	2年	担当教員	坂上啓貴	2	「スタンドバイミー」前編	時代背景を学び文化的考察を行う
科目名	映画で学ぶ文化・歴史・思想	時間数	17時間	3	「スタンドバイミー」後編	
開講期間	2023年後期	授業形態	対面授業	4	感想・考察文作成	文化・社会・歴史的考察を行い、理解を高める
使用テキスト名				5	感想・考察文クラス内発表	他者の意見を聞き、作品への理解度を深める
補助教材				6	「マイ・インターン」前編	文化・人種的背景を学ぶ
				7	「マイ・インターン」後編	
				8	感想・考察文 作成	文化・社会・歴史的考察を行い、理解を高める
科目概要と科目到達目標				9	感想・考察文 発表	他者の意見を聞き、作品への理解度を深める
様々な映画を用い、現代につながる文化や歴史的背景について学び、理解する事で国際人としての教養を身に付け、コミュニケーション力向上を図る。				10	「フォレスト・ガンプ」前編	文化・人種的背景を学ぶ
				11	「フォレスト・ガンプ」中編	
				12	「フォレスト・ガンプ」後編	
				13	感想・考察文 作成	文化・社会・歴史的考察を行い、理解を高める
				14	感想・考察文 発表	他者の意見を聞き、作品への理解度を深める
授業の進め方・学習方法・課題				15	映画・ドラマの相違と文化	映画とドラマでの違いを見つけ、考察する
毎回課題の映画を視聴し、その映画の文化・歴史的背景を考察する。映画を視聴してどのような感じたか、感想や考察をレポートとして提出、クラス内で発表する。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	映画監督・俳優・女優から学ぶ人生	映画監督や演者の人生からメッセージを読み解く
				17	映画史レポート提出と発表	今まで学習して気づいたことや意見を記述し発表する
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	全科	必須・選択	選択必須	1	プロローグ	文学作品の読み方を知る
学年	2年	担当教員	阿部塊地	2	第1章① レポート提出	文章を読み解く力を身につける
科目名	現代文学研究	時間数	17単位時間	3	第1章② レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	4	発表①	自分の考えをまとめて発表する力を養う
使用テキスト名	赤と青のエスキース PHP出版社			5	第2章① レポート提出	文章を読み解く力を身につける
補助教材	パワーポイント スライド			6	第2章② レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
				7	発表②	自分の考えをまとめて発表する力を養う
科目概要と科目到達目標				8	第3章① レポート提出	文章を読み解く力を身につける
2022年本屋大賞2位作品を読み解く。 先を読む力、文章を読み解く力、人の意見を聞く力、自分の考えをまとめ発表する力を養い、就職後に活かせるよう、能動的な姿勢を身につける 一冊の本を元に、物事を深く考え、自分の言葉で人に説明する力を養う。				9	第3章② レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
				10	発表③	自分の考えをまとめて発表する力を養う
				11	第4章① レポート提出	文章を読み解く力を身につける
				12	第4章② レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
				13	発表④	自分の考えをまとめて発表する力を養う
				14	エピローグ	文学作品を読み解く力を身につける
授業の進め方・学習方法・課題				15	定期試験 発表⑤	自分の言葉で人に説明する力を養う
授業の3日前までに、決められた章(部分)を読み、解釈を200字程度のレポートで提出する。 授業時はそのレポートを元に発表、話し合いをして進めていく。 定期試験はPPTを作成し、プレゼンテーション形式で発表を行う。				16	定期試験 発表⑥	自分の言葉で人に説明する力を養う
				17	まとめ	
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 20%				22		
【成績評価基準】				23		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		